

Next Action

NOBU LAB. CONCERT CARAVAN 2022

プロデュース・コンサート・ツアー2022

8/12-KANAGAWA
7/19-TOKYO
9/23-TOCHIGI



「KOTO」の魅力を伝えるべく、今年も「NOBU LAB. CONCERT CARAVAN 2022」を開催します。今年も「KOTO」の魅力を伝えるべく、今年も「NOBU LAB. CONCERT CARAVAN 2022」を開催します。

Kanagawa | 2022.6.12.sun

KOTOで遊ぼう！〜東洋クラシック・アートの魅力を伝えて〜

2022年6月12日(日) 13:30開演/14:00開演

3名限定の限定観覧券「KOTO LAB」

お申し込みはコチラ

各公演のお問い合わせ先・会場住所

Tokyo | 2022.7.3.sun

世界をつなぐ〜KOTOクラシック・アートの魅力を伝えて〜

2022年7月3日(日) 13:30開演/14:00開演

3名限定の限定観覧券「KOTO LAB」

お申し込みはコチラ

各公演のお問い合わせ先・会場住所

KOTO-NOBU-LOG.



2年目のピンク・ペルペチュ!

今年も我が家のバラシーズン到来!ステイホーム期間に、新苗から育て始めたつるバラ「ピンク・ペルペチュ」。昨年までは、摘蕾やシュートのピンチなど株を充実させることに集中した成果もあり、今年は盛大に花を咲かせてくれています。分からないことも多い中で育てていますが、ここまで立派に育ちました。むしろ、育ちすぎて、昨年は自分の背丈を越えた枝振りを見上げ、剪定や誘引に途方に暮れ、今年からは樹形を気にしながら剪定できるようになると良いなと思っています!

日本・フィンランド新音楽協会



先日、フィンランド大使館にて3年ぶりとなる第8回「日本・フィンランド新音楽協会 演奏会」が開催され、出演いたしました。演奏曲は、フィンランド出身のユハ T. コスキネン氏による《天浮橋》
当日のレビューとして、駐日フィンランド大使館 Twitterにて《天浮橋》のダイジェストもお聴きいただけます。<https://twitter.com/finembtokyo/status/1529748473288896513?s=21&t=t3JybwuMx2aBfR-8gUcTow>

コスキネン氏とは、2011年に滞在していたヘルシンキで知り合いました。彼自身は、ちょうど東京都のアートセンターであったトーキョーワンダーサイト（現在のトーキョーアーツアンドスペース）でのアーティストレジデンスから帰国した時で、日本滞在中に栃木県日光市を観光し、月見酒をしたという風雅な話を聞いて、その縁にいつか箏のためにも作曲してもらおうと思ってヘルシンキをあとにしました。

その後、2018年のリサイタル～秋の連歌～の際に、秋をテーマにした十七絃箏独奏曲《薄水》を委嘱し、翌年の2019年に日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を迎えた際に、お互いの文化要素を繋ぎ合わせ新しい箏曲を生み出すプロジェクトをスタート、2020年に2曲目の《天浮橋》が届きました。

このプロジェクトは、春夏秋冬をテーマに4曲で完了する予定で《天浮橋》は春に寄せた短い小品となっており、次の夏へ繋がるための作品でもあります。2020年2月にCOVID-19の影響により世界初演が叶わなかった中、今回、



2019年 第7回演奏会にて

オルパナ大使ご夫妻を始め、協会会員の皆さま、お客様を前にコスキネン氏とのプロジェクト進捗を披露できたことは、とても幸せで、充実感に満ちた時間でした。当日のコンサートでは、大使も述べられていたように、ジャン・シベリウスから世界初演作品、邦人作品まで、声楽、器楽、ソロにアンサンブルまで多彩で、とても充実したプログラムでした。



2018年 箏リサイタル～秋の連歌～にて

その「日本・フィンランド新音楽協会」は、2010年に作曲家一柳慧氏、チェロ奏者セッポ・キマネン氏を中心に、両国の音楽家の交流、作品の発表、そして様々な視点でそれらを考察していくことを目的に設立されました。また音楽関係者のみならず、フィンランドとの関係が深いデザイン、建築、社会研究などの分野の方達の関わりもみられる多様な協会ともいえ、私にとっては、とても大切な所属団体でもあります。ご興味のある方は、ぜひウェブサイト (<http://jfcms.org>) をご覧になり、ご入会なさってみてください！フィンランドが、きっと身近になりますよ！